

膀がんレジメン

イミフィンジ療法

mFOLFIRINOX療法

膀GS療法（術前）

アブラキサン+ゲムシタビン療法

オニバイド+5-FU LV療法

ゲムシタビン療法

レジメン名	mFOLFIRINOX療法	インターバル:	14日	医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント
● 患者情報						
ID		身長	cm			
氏名		体重	kg			

レジメン説明

催吐性リスク：高度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテ接合体の場合、トボテシンを減量する

#### ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	植込型カーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	植込型カーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

适应条件

#### ● 投与スケジュール

レジメン名	脾GS療法（術前）	インターバル：	21日	医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント
● 患者情報						
ID		身長	cm			
氏名		体重	kg			

レジメン説明

#### 催吐性リスク：中等度

S-1は2週間服薬1週間休薬（1回40mg/m<sup>2</sup>×1日2回）C法

#### ● 使用する抗がん剤 :

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ゲムシタビン	1000mg/m2
	内服	S-1	下記参照

適応条件

S-1の処方が必要

#### ● 投与スケジュール

内服藥

### レジメン名

## アブラキサン+ゲムシタビン療法

インターバル： 28 日

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

## ● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長	cm
体重	kg
体表面積	m <sup>2</sup>

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

アフ ラキサンは特定生物由来製品

## ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	アブラキサン	125mg/m2
	点滴静脈内(速度)	ゲムシタピン	1000mg/m2

## 適応条件

#### ● 投与スケジュール

所要時間 100分

100分

100分

## 次クールへ

レジメン名	オニバイド+5-FU/LV療法	インターバル:	14 日	医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント
● 患者情報						
ID		身長	cm			
氏名		体重	kg			

レジメン説明

### 催吐性リスク：中等度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、オニバゾト<sup>®</sup>は開始量を減量する（添付文書参照）

## ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カーテル	オニバイド	70mg/m2
	植込型カーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

適応条件

#### ● 投与スケジュール

### レジメン名

ゲムシタビン療法

インターバル： 28 日

## ● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

醫師名

身長	cm
体重	kg
体表面積	m <sup>2</sup>

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

## レジメン説明 催吐性リスク：軽度

#### ● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ゲムシタビン	1000mg/m2

## 適応条件

#### ● 投与スケジュール